

福祉サービス第三者評価結果（総括表）

① 第三者評価機関名

有限会社プログレ総合研究所

② 施設・事業所情報

名称：藤代なごみの郷	種別：特別養護老人ホーム
代表者氏名：理事長 小林 義男	定員（利用人数）：90名
所在地：茨城県取手市櫛木1342-2	
TEL：0297-82-7530	ホームページ： http://www.f-nagomi.or.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2001年10月1日	
経営法人・設置法人（法人名等）：社会福祉法人エンゼル福祉会	
職員数	常勤職員： 34名 非常勤職員： 27名
専門職員	医師 1名 看護師 6名 栄養士 1名 介護福祉士 31名 介護支援専門員 2名 機能訓練指導員 1名
施設・設備の概要	（居室数）90室 （設備等） 防災設備 スプリンクラー、非常階段 自動火災報知機、誘導灯火 ガス漏れ報知機、防火扉 屋内消火栓、非常通報装置 漏電火災報知器、非常用電源

③ 理念・基本方針

<p style="text-align: center;">私たちは「尊厳と自立」に満ちた生活を送るため、お客様が安心して利用できるサービスを提供いたします。</p>
--

④ 施設・事業所の特徴的な取組

<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の能力に応じた研修会の実施 ・ 毎月介護勉強会の実施 ・ 入職時～試用期間終了までマンツーマン指導の実施 ・ 入居者個々に応じた支援を追求し入居者自身が選択する機会を増やし、生活の質を向上させる ・ 乗馬セラピーの実施（週1回） ・ 地域における公益的な取組み（オレンジカフェ・福祉啓発活動（学校）・体操教室への送
--

迎)

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和元年 4 月 30 日（契約日）～ 令和元年 12 月 19 日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0 回

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

○事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている

中長期計画にある社会福祉法人の責務として、地域における防災拠点の機能強化を挙げている。福祉避難所としての運営見直しも地域と連携し議論している。事業所の設備整備はじめ、備蓄品追加 2 日分を準備するなど風水害における地域から期待される福祉避難所として計画が進められている。

○福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している

年 2 回内部監査を実施し、法人全体でサービスの質の向上に積極的に取り組んでいる。入居者が有する能力に応じた生活が送れるように、各専門職が専門性を最大限発揮できる組織とするために、専門的な知識と技術を習得する育成が行われている。医療的ニーズの高い方の受け入れが可能となるように介護福祉士の取得をはじめ、認定特定行為業務従事者の増員、リーダー候補者育成にも取り組んでいる。

○地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている

認知症カフェ（オレンジカフェ）喫茶 和（なごみ）、シルバーリハビリ体操教室の地域貢献事業を実施している。シルバーリハビリ教室においては、移動が困難な方の送迎サービスを無料で提供している。また、福祉有償運送も実施し、少しでも外出することができるよう活動を支援し貢献している。

○転倒防止のための取り組みを実施している

「事故防止対策委員会」を置き、リスクマネジメントの観点から転倒が起きやすい場所やタイミング、時間等のアセスメントを実施し、記録を整備することで日々の支援に活かしている。居室内は立ち上がり時に手を置きやすいよう理学療法士の意見も含め、家具・調度品の設置場所を考慮する等、利用者が安心して毎日を過ごしていただけるよう常に工夫・検討を継続実施されている。

◇改善を求められる点

○利用者、利用者家族への事業計画の周知にむけた、さらなる理解への取り組みに期待する

利用者及び利用者家族には家族懇談会や広報誌を通じて周知する仕組みがある。利用者の高齢化及び参加率等考慮し、参加できない利用者、家族に対して、ホームページ、広報誌等の工夫をさらに検討されることを期待する。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

初めて第三者評価を受けて、現在出来ている事、努力しなければいけないことが明確になりました。職員、ご入居者、ご家族からの意見を反映した施設創りをしていき、良い部分はさらに良く出来るよう、改善点については、施設一丸となって取り組み、ご入居者の生活に反映出来るよう邁進してまいります。

⑧ 評価細目の第三者評価結果（別紙）